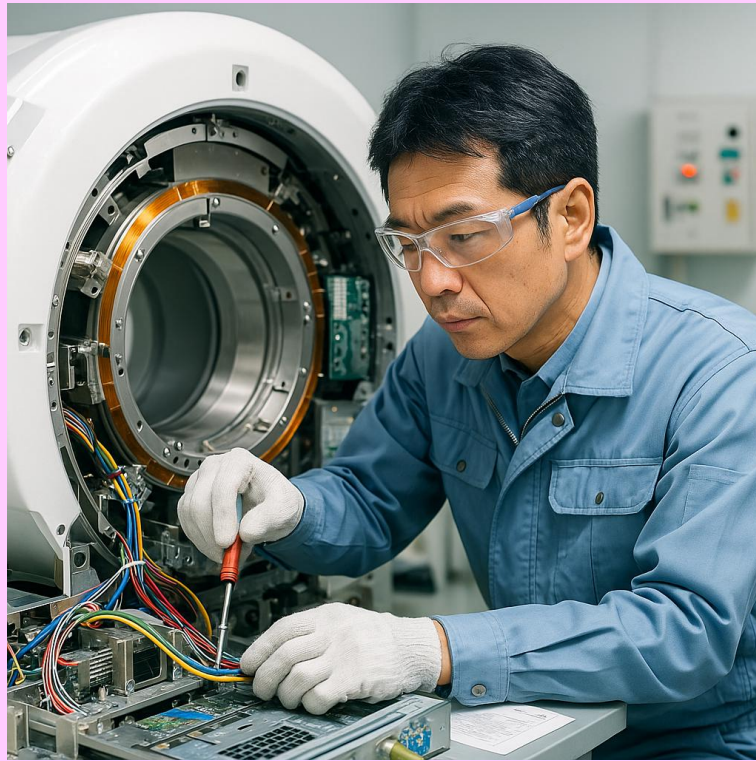


医療用画像放射線機器組立技士



あるあるネタ

- 病院に行くとMRIやCTの型番とメーカー名が真っ先に目に入る。
- 完成した機器を見ると「配線のルート、あそこは俺のこだわり」と誇らしくなる。
- 機器テスト中に“自分が被ばくしないような動線”を無意識にとるようになる。

初期の失敗

新人の頃、CTスキャナ内部の冷却装置の配線を誤り、起動テストで一部の機能が作動せず…。医療機器は「0.1ミスが命の差につながる」と身をもって実感しました。

職業病

美しく這わせた配線・結束バンドの締め加減に異様にこだわるようになり、家庭のAV機器やPC配線まで“プロ仕様”に整えてしまう。

健康問題

長時間の中腰・屈伸姿勢での精密作業による腰痛・肩こり・目の疲れ、また納期前の連続作業や出張設置による生活リズムの乱れが健康を蝕むこともあります。

その職業に就いている人を讃える

あなたはまさに“命を診る装置の内臓を組む繊細な職人”ですね。誰かの診断を支える画像が今日も鮮明に映るのは、あなたの正確で丁寧な手仕事のおかげ。誰の目にも触れない本体内部に、あなたの技術と誇りが詰まっている。MRIやCTが「異常なし」と語るその裏で、あなたが組み上げた回路が静かに拍動しているのです。どうか、ご自身のメンテナンスも忘れずに。配線と同じくらい、あなたの身体も丁寧にケアしてください。